

元日からすばらしいパウダー！

八甲田 雛岳山スキー

全国的な寡雪は青森も例外ではなく、いつものみちのく深沢温泉も危うく地面が見えそうなぐらいの雪の少なさ。大晦日には銅像ルートを滑ったが、下部の傾斜のゆるいあたりは灌木がまだ出ており、これまで見たことがない景色であった。



雪が少なく灌木が見える

あって苦労することはない。標高1000mの手前で先行者のラッセルから離れ、進路を南側に振る。

ひどくはないが風雪が出てきたことと、山頂に上がってもたくさんの人にあうだけなので、適当なところで見切りをつけてさあ滑ろう！

1050mぐらいでシールを外し、いざ滑降。本格的な降りではなかったものの、大晦日から少し降雪があったのですばらしいパウダー。

先を争うようにしておいしいパウダー斜面を滑降した。



さあ、滑ろう！

【日程】

2016年1月1日（金）

【メンバー】

鈴木（L）、渡辺、野村、遠藤（他会）、山科（他会）

【地形図】

八甲田山、青森東部

【記】野村

2016年一発目のスキーは雛岳に行くことにした。箒場岱に着くと、なんと5、6台も車が停まっている。十数人の先行者があるようだが、滑るルートはいくつもとれるだろう。せいぜい膝ぐらいまでしか潜ることもないが、せっかくトレースがあるのでありがたく使わせてもらった。

最初はなだらかな登りで昨晚のお酒が残る体にはちょうどよい。そのうちに少しずつ斜度が出てきたが、雪が浅いのも



いやあ、いいパウダー！！

酒はたくさん飲んでも、ガツガツと滑るというイメージからはほど遠いメンバー（失礼！）だったが、あまりのすばらしいパウダーに、「もう1回登り返すか?!」との声が出、全員一致で登り返すことにした。

今度はだいぶ体からアルコールが抜けたこともあり、また早く次の滑りを楽しみたいとはやる気持ちもあり、登る足取りが軽い。300mほどの標高差をわずか一時間ほどで登った。

2本目はじっくりと味わいながらの滑降。太めのブナの斜面は大きなターンを気持ちよく決めながら至福のひとときを味わった。

下部は斜面が緩むので、灌木を避けつつの滑りとなったが、雪に隠れた木をスキーでまたいでしまい、顔面からダイブするという事件もあった。本人の名誉のため、誰とはいいません。



ヒャッホー！！

この正月も、犬連れで八甲田に参加させてもらった。鈴木さんの古くからの友人逸見さんのコンサートあり、宿の古いカラオケセットを使ったカラオケ大会あり（次郎さんの得点が高いのに一同びっくり！）と宴会の方は例年通りの盛り上がり。スキーの方は、、、と心配していたが、元日から最高のパウダー滑りを満喫できてよかった。

八甲田ツアーはやめられませんな。
皆さん、ありがとうございました。

【行程】

箒場岱 600m (9:30) ~ 標高 1050m (11:20) ~ 標高 800m まで滑降 (11:50)
~ 標高 1100m まで登り返し (12:40) ~ 田代橋 (13:15) ~ 箒場岱 (13:30)